

高等学校 令和6年度（1学年用）教科

情報 科目 情報Ⅰ

教科： 情報

科目： 情報Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者：（A組～C組 E組～H組： 鈴木 D組： 山口）

使用教科書：（「最新情報Ⅰ」 実教出版 ）

教科 情報の目標：

- 【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅰの目標： 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】			
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。		事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。			

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション	・C A L L 教室の使い方を理解する。 ・授業の進め方、評価方法を理解する。 ・コンピュータの起動や終了の方法を理解する。	・コンピュータ教室のルールを理解している。 ・コンピュータを起動し、目的とするアプリケーションを開くことができ、正しい手順で終了することができる。	○			1
	単元 「情報社会」 【知識及び技能】 データ、情報、知識の意味と相互の関係について理解することができる。簡単なデータの入力ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報社会の現状と特性について理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会の課題について積極的に調べ自らの情報活用について振り返り、改善方法しようとしている。	・指導事項 情報社会の解説、授業ノートの完成指導、キーボード入力の方法 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 情報社会とその特性について説明することができる。適切な手段を選択しデータ入力ができる。 【思考・判断・表現】 情報社会での活用例を挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	5
	単元 「情報モラルと個人への影響」 【知識及び技能】 ソーシャルメディア利用時のモラルとその影響について理解できる。長文が支障なく作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 SNSの活用など、不特定多数を対象としたコミュニケーションの注意点及び影響についてあげることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報化が個人に及ぼす影響について考え、自らの情報活用について振り返り、改善方法しようとしている。	・指導事項 情報モラルの解説、授業ノートの完成指導、キーボード入力の練習 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 ソーシャルメディア利用時の情報モラルとその影響について説明することができる。適切な手段を選択し文書入力ができる。 【思考・判断・表現】 モラルとマナーについて説明でき、事例を挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	6
	単元 「情報社会の法規と権利」 【知識及び技能】 知的財産、著作物について理解できる。個人情報とプライバシーについて理解できる。通信文がルールに基づき作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 知的財産、著作権を保護する意味合いを説明できる。 個人情報保護の意義について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 個人情報の流出を防ぎ、適切に管理しようとしている。	・指導事項 知的財産、著作物、個人情報、プライバシーの解説、授業ノートの完成指導、キーボード入力の練習 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 知的財産の概念について説明できる。知的財産権や著作権についての法律をあげることができる。ルールに則った通信文が作成できる。 【思考・判断・表現】 知的財産権が産業や文化の発展に与えている影響について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	8
	単元 「メディアとデザイン」 【知識及び技能】 メディアの機能やその分類について理解することができる。メディアの発達について理解することができる。様々なオブジェクトを取り入れた文章や通信文が作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報に応じて適切に表現メディアや情報メディアを選択して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーションを図る活動を行い、自己評価や相互評価に基づいてコミュニケーションの技能を改善しようとしている。	・指導事項 メディアとデザインの解説、授業ノートの完成指導 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 メディアの機能について説明することができる。さまざまなメディアを分類することができる。メディアの発達について説明することができる。他のメディアを適切に使用した文書が作成できる。 【思考・判断・表現】 情報の信憑性や信頼性について吟味し、情報の真意を読み解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	8
実技試験							1
定期考査							1

2 学 期	単元 「システムとデジタル化」 【知識及び技能】 コンピュータの構成と動作の仕組みについて理解する。 ソフトウェアの種類とインタフェースについて理解する。 アナログとデジタルの違いについて理解する。表計算ソフトを利用した情報処理ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータの計算の仕組みについて、順序立てて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的なコミュニケーションや問題解決のために、主体的に情報を整理したり、わかりやすく伝達したり、操作性を高めたりする努力をしようとしている。	・指導事項 システムとデジタル化の解説、授業ノートの完成指導 教 ・教材 科書、授業ノートプリント 一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 コンピュータの構成や計算の仕組みについて説明することができる。 ソフトウェアの種類とその働きを説明することができる。 アナログとデジタルの概念とその違いを説明できる。関数を使用した表が作成できる。 【思考・判断・表現】 コンピュータの計算の仕組みについて、順序立てて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加 課題に取り組んでいる。	○	○	○	12
	単元「ネットワークとセキュリティ」 【知識及び技能】 情報通信ネットワークの構成について理解する。 情報セキュリティを確保する方法と技術について理解する。表計算ソフトを利用した情報処理ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に沿って、LANを構成する情報機器の接続を適切に選択することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実際に利用しているネットワークの構成について自ら調べ、問題を指摘してネットワークの改善につなげようとしている。	・指導事項 ネットワークとセキュリティの解説、授業ノートの完成指導 教 ・教材 科書、授業ノートプリント 一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 通信方式の種類やその違いについて説明することができる。 情報セキュリティの基本的な考え方について説明することができる。問題解決の手段として表が作成でき、適切なグラフが作成できる。 【思考・判断・表現】 目的に沿って、LANを構成する情報機器の接続を適切に考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加 課題に取り組んでいる。	○	○	○	12
	実技試験						1
	定期考査						1
3 学 期	単元 「問題解決とその方法」 【知識及び技能】 問題解決の手順について理解する。 データ分析の手法について理解する。 プレゼンテーションソフトを利用した資料が作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 モデル化する手順と方法を理解しできる。 【学びに向かう力、人間性等】 ブレインストーミングやグループディスカッションなど、問題の発見・解決のためのグループでの活動には積極的に参画している。	・指導事項 問題解決とその手法の解説、授業ノートの完成指導 教 ・教材 科書、授業ノートプリント 一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 問題解決の手順について説明できる。 データ分析の手法について説明できる。 プレゼンテーションソフトを利用した資料が作成でき、プレゼンテーションできる。 【思考・判断・表現】 モデル化の手順に従って、様々なモデルが作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加 課題に取り組んでいる。	○	○	○	7
	実技試験						1
	単元「アルゴリズムとプログラミング」 【知識及び技能】 アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 関数を使用したプログラムを作成する。多くのデータから目的のデータを探し出すプログラムを作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズムやフローチャートなどの表記に、興味や関心を示している。問題解決のためのアルゴリズムを考える学習に、主体的に取り組んでいる。	・指導事項 アルゴリズムとプログラミングの解説、授業ノートの完成指導 教 ・教材 科書、授業ノートプリント 一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法が説明できる。 プログラミング言語の種類とその特徴について説明できる。 【思考・判断・表現】 表計算ソフト上でV B Aを使用してプログラムが作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加 課題に取り組んでいる。	○	○	○	6
							合計
							70

高等学校 令和6年度（1 学年用）		教科	国語	科目	現代の国語
教科：	国語	科目：	現代の国語	単位数：	2 単位
対象学年組：	第 1 学年 A 組～ H 組				
使用教科書：	（ 高等学校 現代の国語（数研出版） ）				
教科	国語	の目標：			
【知 識 及 び 技 能】		基礎的言語能力（読む・書く・話す・聞く）およびコミュニケーション技能・能力の習得および向上			
【思考力、判断力、表現力等】		文章の種類を問わず、書き手の意図を的確に把握する力、および自分の考えを適切に表現する力の育成			
【学びに向かう力、人間性等】		自ら教科書以外の文章に多く触れていく姿勢の育成／他者に対する共感力や感受性の育成・向上			
科目	現代の国語	の目標：			

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・漢字や語句など語彙力の向上 ・論理的な文章や実用的な文章に数多く触れることで基礎的な読解力を向上させる ・「書く・話す・聞く」など言語表現にかかわる技能の向上	・論理的な文章の構造を把握し、論理や文意を適切に把握する力 ・問われているテーマについて自分の考えを持ち、それを適切に表現できる力、および聞く力	・日常的に自分たちが触れているものよりも長め、難しめの文章を意欲的に読んでいこうとする姿勢 ・扱われているテーマについて自らより深く知り、考えていける力

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元「水の東西」 【知識及び技能】 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。	・評論文の読み方 ・比較文化論 ・段落構成と論理構造 ・端末活用 ・文中の語句などを調べる ・単元ふりかえりシート作成				・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。				6
	単元「間の感覚」 【知識及び技能】 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。	・評論文の読み方 ・比較文化論 ・段落構成と論理構造 ・端末活用 ・文中の語句などを調べる ・単元ふりかえりシート作成				・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。				6
	定期考查									1
	単元「羅生門」 【知識及び技能】 ・比喩などの修辞を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。	・行動や心理の把握 ・場面の展開のまとめ ・段落構成と論理構造 ・端末活用 ・文中の語句などを調べる ・単元ふりかえりシート作成				・比喩などの修辞について理解を深めている。 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。				8
	単元「スピーチで自分を伝える」 【知識及び技能】 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スピーチを行いそれを傾聴する 【学びに向かう力、人間性等】 ・クラスメートのスピーチを傾聴する。	・ビブリオバトルの準備 ・立場の明確化 ・話の構成の工夫 ・端末活用 ・単元ふりかえりシート作成				・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使っている。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。				4
	定期考查									1
	単元「ビブリオバトル」 【知識及び技能】 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スピーチを行いそれを傾聴する 【学びに向かう力、人間性等】 ・クラスメートのスピーチを傾聴する。	・ビブリオバトル ・傾聴スキル ・話の構成の工夫 ・単元のふりかえりシート作成 ・評価シート作成				・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使っている。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ・学んだことを学校生活の他の場面でも生かそうとしている。				6

	単元「生きもの」として生きる 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。	・評論文の読み方 ・段落構成と論理構造 ・端末活用 ・文中の語句などを調べる ・単元ふりかえりシート作成		○	○	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。	○	○	○	8	
	定期考查						○	○		1	
2 学期	単元「砂に埋もれたル・コルビュジェ」 【知識及び技能】 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。	・過去の会話を重層的に描いた構成の把握 ・段落構成と論理構造 ・端末活用 ・文中の語句などを調べる ・単元ふりかえりシート作成			○	○	・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 ・本文に叙述された本に対する思いを積極的に読み取り、自分にとって思い入れのある本を、根拠を示してまとめようとしている。	○	○	○	8
	単元「夢十夜」 【知識及び技能】 比喩や言い換えなどの修辞を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、自分の意見や考えを論述する。	・評論文の読み方 ・判断の根拠材料の検討 ・段落構成と論理構造 ・端末活用 ・文中の語句などを調べる ・単元ふりかえりシート作成			○	○	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。	○	○	○	6
	定期考查							○	○		1
3 学期	単元「不均等な時間」 【知識及び技能】 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。	・評論文の読み方 ・対比の方法 ・近代化について ・段落構成と論理構造 ・端末活用 ・文中の語句などを調べる ・単元ふりかえりシート作成		○	○	・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・対比による推論を叙述を基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。	○	○	○	8	
	単元「論理的な表現」 【知識及び技能】 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫する。 ・進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合ったりする。	・論理的文章の書き方 ・主張と理由の関係性や妥当性 ・説得力を意識した表現 ・端末活用 ・単元ふりかえりシート作成			○	○	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 ・進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。	○	○	○	5
	定期考查							○	○	○	1
							○	○	○	合計	70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

国語

科目 言語文化

教科： 国語

科目： 言語文化

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書： （ 高等学校 言語文化（第一学習者） ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 基礎的言語能力（読む・書く・話す・聞く）およびコミュニケーション技能・能力の習得および向上

【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を問わず、書き手の意図を的確に把握する力、および自分の考えを適切に表現する力の育成

【学びに向かう力、人間性等】 自ら教科書以外の文章に多く触れていく姿勢の育成／他者に対する共感力や感受性の育成・向上

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・漢字や語句など語彙力の向上 ・近代以降の文学に触れ、文学的表現に対する読解力を向上させる ・古典文学に慣れ、文法的知識をもとに正確に古典を読み取る力を向上させる	・含意のある文章を適切に読み取り、自分で判断したうえで鑑賞できる力の向上 ・時代背景が異なっても変わらない、人の感情・思いを読み取り、鑑賞できる力の向上	・古典あるいは近代以降の文学が、多くの人に影響を与え、現代まで続く文化を形成してきたことの価値を理解し、意欲的に学んでいこうとする姿勢を持つ

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元 古文入門・説話文学 【知識及び技能】 古文を読むための基礎知識を得、簡単な説話の世界に触れてみる 【思考力、判断力、表現力等】 近代以降の文章との違いを自分なりに見つけていく 【学びに向かう力、人間性等】 古典に関心を持って臨む	教材 『古文入門』『宇治拾遺物語』『児のそら寝』 指導内容 現代仮名遣いと歴史的仮名遣い／古典での50音／説話の読解 端末活用 古典導入教材（スタディサブリ） 学びのふりかえりシート作成	○	○	○	・仮名遣いの違いや50音の違いなどを理解したうえで、古文を適切に音読できる ・初歩的な古典作品を対訳付きで理解できる ・古典作品の中にある、現代に通じる可笑しさを言語化して説明できる ・古典に興味を持ち、積極的に読もうとしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
	単元 随想・随筆 【知識及び技能】 より正確に古文を読む 【思考力、判断力、表現力等】 随想に表される筆者の感性や考え方を感じ取り、自分の考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 時代への理解を深めようとしている	教材 『枕草子』（第1段・第98段） 指導内容 音読／内容理解／文法事項（用言）／筆者の価値観や考え方、感性 端末活用 文法学習（スタディサブリ）／読後の意見交換 学びのふりかえりシート作成		○	○	・古文に慣れ、スムーズに音読できる ・対訳を読みながら、作品の内容を把握できる ・文法事項（用言）について理解できる ・当時の感覚や価値観と、現代の価値観とを比較しながら、共通項や違いについてまとめ、自分の考えを述べられる ・古典作品のユーモアや美意識にある現代との共通性を知り、関心を深めようとしている	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
2 学 期	単元 歌物語 【知識及び技能】 より正確に古文を読む 【思考力、判断力、表現力等】 和歌が教養の中心にあった時代を想像し、当時の感じ方をとらえる 【学びに向かう力、人間性等】 時代への理解を深めようとしている	教材 『伊勢物語』『筒井筒』『あづき弓』 指導内容 音読／内容理解／和歌の理解／文法事項／時代背景の理解 端末活用 読後の意見交換 学びのふりかえりシート作成	○	○	○	・古文に慣れ、スムーズに音読できる ・対訳を読みながら、作品の内容を把握できる ・文法事項（用言）について理解できる ・当時の感覚や価値観、特に和歌に対するそれと現代の価値観とを比較しながら、共通項や違いについてまとめ、自分の考えを述べられる ・歌物語の中に描かれている、人の思いや機微に関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
	単元 軍記物語 【知識及び技能】 古文の読解のための技能習得に進む 【思考力、判断力、表現力等】 作品に現れる人間観に触れ、長く読まれる作品について考える 【学びに向かう力、人間性等】 より積極的に古文学習意欲をもつ	教材 『平家物語』『祇園精舍』『木曾の最期』 指導内容 音読／内容理解／初歩的な文法事項の学習 端末活用 文学史的な知識を検索してまとめる 学びのふりかえりシート作成		○	○	・古文に慣れ、スムーズに音読できる ・対訳を読みながら、作品の内容を把握できる ・初歩的な文法事項（品詞の種類など）について理解できる ・長く読み継がれる作品とはどのようなものか、教材をもとに自分の考えを持ち、言語化できる ・古典の世界を意欲的に理解しようとしている	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
3 学 期	単元 漢文導入 【知識及び技能】 訓読の基礎 【思考力、判断力、表現力等】 訓読の基本ルールを理解し、応用的に使いこなせる 【学びに向かう力、人間性等】 漢文を通じ、漢文学・文化に親しむ	教材 漢文入門 指導内容 訓読の基本／返り点・送り仮名／書き下し文 端末活用 訓読の理解（スタディサブリ） 学びのふりかえりシート作成	○	○	○	・訓読の基本ルールを理解し、身につける ・返り点や送り仮名、返読文字、再読文字、置き字を理解する ・訓点に応じて書き下し文に直せる ・外国語を自国語で読めるようにした必要性について考え、自国文化と他国文化の関係について考える ・意欲的に漢文学習に取り組んでいる	○	○	○	9
	単元 故事成語 【知識及び技能】 故事成語とその由来について知る 【思考力、判断力、表現力等】 作品の歴史的・文化的背景を理解し、作品の価値観について考える 【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代のつながりに関心を持つ	教材 故事成語 指導内容 訓読／音読／対訳・解釈／作品の背景の理解 端末活用 読後の意見交換 学びのふりかえりシート作成		○	○	・訓読の基本ルールにのっとって正しく漢文を読める ・故事成語が現代でも使われていることを理解する ・作品の時代背景を理解し、その時代の価値観について自分の考えをまとめられる ・漢文化と日本文化の関係について興味を持ち、学習を深めようとしている	○	○	○	7

[illegible]

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教 科： 地理歴史 科 目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（『明解 歴史総合』（帝国書院））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 地理・歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に着ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 学習した地理・歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 学習した地理・歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に取り組む態度を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、多面的・多角的に考察する。	我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 歴史と私たち 【知識及び技能】 近代化に関わる史資料を読み解く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現している。	・問い 私たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結び付きがあるのだろうか。	【知識・技能】 身の回りの事象と世界の歴史がつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 身の回りの事象と世界の歴史とのつながりについて考察し、自分の考えを表現している。	○	○		2
	単元 江戸時代の日本と結び付く世界 【知識及び技能】 18世紀における清を中心としたアジアの国際秩序やヨーロッパ諸国との交易について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 銀の動きに着目し、清と近隣諸国、ヨーロッパ諸国との交易の特徴について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 大西洋三角貿易がアフリカとアメリカに残した課題について考察し、表現している。	・問い 18世紀の日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれどのように結び付いていたのだろうか。 ・指導事項 ①アジアの中の江戸幕府 ②成熟する江戸社会 ③清の繁栄と結び付く東アジア ④アジア・アメリカに向かうヨーロッパ ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解している。 【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元 欧米諸国における近代化 【知識及び技能】	・問い 欧米で起こった市民革命・産業革命に	【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業	○	○	○	7
	単元 近代化の進展と国民国家形成 【知識及び技能】 国民国家の形成について、ナショナリズムの運動に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 1848年を転換点とするヨーロッパにおける近代化の経緯について考察し、その特徴を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国民国家の形成や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について考察し、解決策を追究しようとしている。	・問い 近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのだろうか。 ・指導事項 ①1848年～近代ヨーロッパの転換点 ②イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 ③アメリカの拡大と第2次産業革命 ④帝国主義と世界の一体化 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。	○	○	○	6
	単元 アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識及び技能】 ヨーロッパの進出に対し、オスマン帝国、エジプト、イランの3国がそれぞれどのような対応をとったのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 清と日本の欧米諸国への対応における相違点をあげ、その理由について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米諸国の進出に伴うアジア社会の変容が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。 ・指導事項 ①「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ②南・東南アジアの植民地化 ③ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 ④黒船と日本の対応 ⑤新体制と江戸幕府の滅亡 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	単元 近代化が進む日本と東アジア 【知識及び技能】 日本が、明治維新の諸改革によって急速に近代化を進めたことについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 明治維新の前後で国の仕組みと身分制がどのように変化したか考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響について考察し、解決策を追究しようとしている。	・問い 日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化していったのだろうか。 ・指導事項 ①新政府の誕生 ②近代国家を目指す日本 ③日本と清の近代化と日清戦争 ④列強の進出と日露戦争 ⑤日露戦争が与えた影響 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	6

	に云々に示す影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。						
	単元 第一次世界大戦と日本の対応 【知識及び技能】 第一次世界大戦が総力戦化した構造を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 第一次世界大戦の特徴と戦争の被害が拡大した要因について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦に伴う様々な変化が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 第一次世界大戦は、日本を含む世界の人人々にとってどのような戦争になったのだろうか。 ・指導事項 ①ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 ②総力戦となった第一次世界大戦 ③ロシア革命と大戦の終結 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会につながるどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとしている。	○	○	○	6
2学期	定期考査			○	○		1
	単元 国際協調と大衆社会の広がり 【知識及び技能】 大戦後のヨーロッパで、平和を模索する国際秩序が構築されたことと大衆による政治参加が進んだことについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 大戦後、各国で大衆の政治参加が進んだ理由について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのだろうか。 ・指導事項 ①ヴェルサイユ体制の成立 ②東アジアの民族自決の行方 ③中東。インドの民族自決の影響 ④ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 ⑤大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ⑥日本における大衆社会の形成 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、その解決策について追究しようとしている。	○	○	○	6
	単元 日本の行方と第二次世界大戦 【知識及び技能】 ヨーロッパでの戦いから、アジア・太平洋にも及ぶ戦争に発展する経緯に着目して理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 なぜ第二次世界大戦では多くの犠牲者が出るようになったのかを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 大衆の戦争参加が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのだろうか。 ・指導事項 ①世界恐慌を与えた影響 ②ファシズムの台頭と拡大 ③政党政治に断絶と満州事変 ④日中戦争の始まり ⑤第二次世界大戦の展開 ⑥戦局の悪化と被害の拡大 ⑦第二次世界大戦の終結とその惨禍 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解している。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3学期	単元 再出発する世界と日本 【知識及び技能】 日本とドイツに対する連合国の戦後処理の目的と結果、および国際連合を中心とした国際平和協力について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 冷戦がヨーロッパ諸国に及ぼした影響について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 2度の世界大戦が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 第二次世界大戦を経て、国際秩序はどのように変化したのだろうか。 ・指導事項 ①戦後の新たな国際秩序 ②冷戦の始まり ③日本撤退後の東アジア ④日本の改革と独立の回復 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制における課題が、現代社会にどのような影響を与えているかについて考察し、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	7
	単元 冷戦で揺れる世界と日本 【知識及び技能】 高度経済成長に至る経緯を、55年体制や冷戦に着目して理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 日本が高度経済成長を達成することができた要因を国内外の情勢と関連させて考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦期における各国の動向を踏まえ、現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々はどのような選択をしたのだろうか。 ・指導事項 ①アメリカ・ソ連の緊張と緩和 ②冷戦下における日本の復興 ③第三勢力の形成と脱植民地化 ④中東戦争とパレスチナ問題 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 55年体制の形成から高度経済成長に至る日本の動きを、冷戦下の国際情勢を踏まえながらその中に位置づけて理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦期における各国の動向、現在の社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、解決策について追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

数学 科目 数学Ⅰ

教科： 数学

科目： 数学Ⅰ

単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（「新編 数学Ⅰ」 数研出版）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしたりする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりする。

科目 数学Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数や式を多面的にみたり適切に変形する力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象の特徴を表す式、グラフを関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について分析し、解決の過程や結果を考察し判断する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	単元 「式の計算」 【知識及び技能】 式を目的に応じて整理できる。 【思考力、判断力、表現力等】 複雑な式も、項を組み合わせたなどして適切に変形できる。 【学びに向かう力、人間性等】 既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形できる。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅰ」 「練習ドリル 数学Ⅰ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 式の形の特徴に着目して変形し、展開や因数分解の公式を適用することができる。 【思考・判断・表現】 複雑な式についても、項を組み合わせる、降べきの順に整理するなどして、因数分解をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式の変形、整理などの工夫において、よりよい方法を考察しようとしている。	○	○	○	8
	単元 「実数」 【知識及び技能】 既習の数を実数としてまとめ、数の体系についての理解を深める。簡単な無理数の四則計算ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 実数の性質について考察する。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅰ」 「練習ドリル 数学Ⅰ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができ、分母の有理化ができる。 【思考・判断・表現】 実数を数直線上の点の座標として捉えられる。また、実数の大小関係と数直線を関係づけて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 対称式の値の求め方や循環小数が分数で表現できることに興味を示し、自ら考察しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	単元 「一次不等式」 【知識及び技能】 不等式の解の意味や不等式の性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用する力を培う。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅰ」 「練習ドリル 数学Ⅰ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 絶対値記号を含むやや複雑な式についても、適切に絶対値記号をはずす処理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常的事象に1次不等式が活用できることに興味をもち、考察しようとしている。	○	○	○	11
	単元 「集合と命題」 【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 集合と命題に関する概念を事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 背理法を利用して命題を証明することができる。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅰ」 「練習ドリル 数学Ⅰ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 集合とその表し方を理解している。 【思考・判断・表現】 命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 直接証明法では難しい命題も、対偶を用いた証明法や背理法を用いると鮮やかに証明できることに興味・関心をもち、実際に証明しようとしている。	○	○	○	10
2 学 期	定期考査			○	○	○	1
	単元 「2次関数とグラフ」 【知識及び技能】 2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータなどの情報機器を用いて2次関数のグラフをかく。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の式とグラフとの関係について、多面的に考察する。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅰ」 「練習ドリル 数学Ⅰ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 平方完成を利用して、2次関数 $y=[ax]^2+bx+c$ のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 放物線のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとしている。	○	○	○	9
	単元 「2次関数の値の変化」 【知識及び技能】 2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の最大・最小の考えを利用して日常生活における具体的な事象を考察する。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅰ」 「練習ドリル 数学Ⅰ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 2次関数 $y=[a(x-p)]^2+q$ の形に式変形して、最大値、最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 定義域が変化するときや、グラフが動くときの最大値や最小値について、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	単元 「2次方程式と2次不等式」 【知識及び技能】 2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近にある具体的な問題を2次不等式で解決できる。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅰ」 「練習ドリル 数学Ⅰ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 2次方程式・不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 2次式が一定の符号をとるための条件を、グラフと関連させて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数で表される事象の具体例について興味をもち、考察しようとしている。	○	○	○	14
	単元 「三角比」 【知識及び技能】 三角比の意味やその基本的な性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比の相互関係などを理解できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅰ」 「練習ドリル 数学Ⅰ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解し、測量などの応用問題に利用できる。 【思考・判断・表現】 三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 tanθと直線の傾きの関係に興味をもち考察しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	単元 「三角形への応用」 【知識及び技能】 正弦定理、余弦定理の意味を理解し利用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 正弦（余弦）定理や面積を求める公式を導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決する力を培う。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅰ」 「練習ドリル 数学Ⅰ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 余弦定理や正弦定理を用いて、三角形の残りの辺の長さや角の大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 正弦定理、余弦定理を導くことができる。三角比と三角形の面積の関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 正弦定理、余弦定理、三角形の内接円と面積の関係を導こうとする。日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとしている。	○	○	○	11
	単元 「データの分析」 【知識及び技能】	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出	【知識・技能】 データの中央値、分散、標準偏差の意義とその意味を理解し、計算し、データの特徴を説明することができる。				

期	【知識及び技能】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 手法を選択してデータの分析を行い、事象の特徴を表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 主張の妥当性について、実験を通して判断し、批判的に考察する力を養う。	競争的体験会・原理・広範囲理解、問題調査、小ノボ ・課題提出 ・教材 「4プロセス 数学Ⅰ」 「練習ドリル 数学Ⅰ」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	ノートンハイル、刀取、鈴木園子氏等による思考を整理し、計算し示めることができる。 【思考・判断・表現】 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 変量の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するか、考察しようとしている。	○	○	○	10	
	定期考査			○	○	○	1	
								合計
								105

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科

教 科： 数学

科 目： 数学A

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ 「新編 数学A」 数研出版 ）

教科 数学

の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数理化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を 簡潔・明確・的確に表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしたりする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりする。

科目 数学A

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数理化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元 集合 集合の概念、要素の個数、ベン図等について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 和集合や補集合について理解し、その要素の個数を求めることができる。ベン図を利用することで、和集合や補集合の要素の個数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ベン図を利用して集合を図示することで、集合の要素の個数を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合を考えることで、日常的な事柄などを、集合の要素の個数として数学的に数えようとする。	○	○	○	3
	単元 場合の数・順列 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 いくつかのものの中からその一部を取り出して1列に並べるとき、並べ方の総数について調べることができるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 ○樹形図を用いて、場合の数をもれなくかつ重複なく数えることができる。順列の総数、階乗を記号で表し、それを活用できる。順列、円順列、重複順列の公式を理解し、利用することができる。 【思考・判断・表現】 場合の数を数える適切な方針を考察することができる。条件が付く順列、円順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 道順の数え方に興味を示し、樹形図、和の法則や対称性などによる場合の数の数え方に関心をもつ。既知である積の法則から順列の総数を求める式を導こうとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	単元 組み合わせ・確率の基本性質 いくつかのものの中からその一部を取り出して1列に並べるとき、その組の総数について調べることができるようにする。 身の回りの事象について、起こりやすさ・起こりにくさを数学的に考えることができるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 組合せの総数を記号で表し、それを活用できる。また、組合せの公式を理解し、利用することができる。確率の定義を理解し、確率の表の方がわかる。 【思考・判断・表現】 既知である順列の総数をもとにして、組合せの総数を考察することができる。不確定な事象を、同様に確からしいという概念をもとに、数論的に捉えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 総列・組合せの違いに興味・関心をもつ。1個のさいころを繰り返し投げられる実験などを通して、統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもつ。	○	○	○	7
	単元 独立な試行と確率、条件付き確率、期待値 集合を用いて確率の事象を明らかにする。 複数の試行を行うときの確率を考えることができるようにする。 条件付き確率と期待値の概念を理解し、身の回りの事象について考えることができるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 複雑な独立試行の確率を、公式や加法定理などを用いて求めることができる。条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができる。期待値の定義を理解し、期待値を求めることができる。 独立な試行の確率を、具体的な例から直観的に考えることができる。既習の確率と条件付き確率の違いについて、図や表などを用いて考察することができる。結果が不確定な状況下において、どの選択が合理的かを判断する基準として、期待値の考えを用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 加法定理などを利用して、複雑な事象の確率を数論的に求めようとする。条件付き確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもつ。確率的に活用しようとする。日常の事象における不確実な事柄について判断する際に、期待値を用いて比較し、考察しようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	単元 約数と倍数、素因数分解、最大公約数、最小公倍数 約数と倍数の性質、素因数分解について理解できるようにする。2つ以上の整数について、共通する約数や倍数について理解し、考察することができるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 いろいろな数の倍数の判定法を理解している。自然数の正の約数やその個数を求めるのに、素因数分解が利用できることを理解している。素因数分解を利用して最大公約数・最小公倍数を求める方法を理解している。 【思考・判断・表現】 決められた手順で複数枚のカードを操作する事象などを数学的に捉え、約数の個数の考えを用いて仕組みを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 いろいろな数の倍数の判定法について調べようとする態度がある。数史に興味・関心をもち、素数と素因数分解について学びようとする態度がある。	○	○	○	8
	単元 整数の割り算、ユークリッドの互除法 整数の割り算について、身の回りの事象に関連付けて考えることができる。素因数が大きい数の最大公約数を求める方法について理解し、1次不定方程式の解法を身に付ける。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 2つの整数a、b を除数と余りを用いて表し、a+b などの余りを求めることができる。互除法の原理を理解し、互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 問題解決の過程を振り返って、割り算の余りの性質について考察を深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学史の話題を通して、割り算の方法や割り算の余りの性質に興味・関心をもつ。素因数分解をしなくても、互除法によって最大公約数が求められることに興味・関心をもつ。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	単元 1次不定方程式 さまざまな1次不等式について、その整数解を求める解法を学ぶとともに、身の回りの事象に活用できるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 互除法の原理を理解し、互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。1次不定方程式の特殊解を求め、それによりすべての整数解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 矢張りばかりのつり合いや油分け算などの日常的な問題について、1次不定方程式と関連付けて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 素因数分解をしなくても、互除法によって最大公約数が求められることに興味・関心をもつ。	○	○	○	7
	単元 記数法、座標の考え方、ゲーム・パズルの中の数学 さまざまな記数法を学び、平面や空間の位置を表す座標を考え、数学を様々な場面で有効に活用できるようにする。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「4プロセス 数学A」 「練習ドリル 数学A」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 ○進法について理解している。n 進法の整数を10進法で、10進法の整数をn 進法で表すことができる。進法における特定の数の表し、座標平面上の点と従って位置を明確で表現できる。 【思考・判断・表現】 数の記数法を他の記数法と比較し、特徴を説明することができる。平面上の点の座標の考え方、空間の点の座標に拡張して考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 矢張りばかりや油分け算などの日常的な問題について、1次不定方程式と関連付けて考察しようとする態度がある。数学史の話題を通じて、数の表し方に興味・関心をもつ。コンピュータなどの身近な物に、n 進法の考え方が活用されていることに興味・関心をもつ。平面上の点の位置に関する問題を、座標平面上で代数的に解決する解法の方法を知ろうとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

理科

科目 化学基礎

教科 理科

科目 化学基礎

単位数 2 単位

対象学年組 第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書 （ 化基704 「化学基礎」 実教出版 ）

教科 理科

の目標

【知識及び技能】

自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】

自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

【学びに向かう力、人間性等】

自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

科目 化学基礎

の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学に関する事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然界や産業界にある事物・現象の中に問題を見出し、化学的に探究する過程を通して、事象を科学的・論理的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。	自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。 自然の原理・法則や科学技術と私たちの生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる化学に対する興味・関心を高めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	序章 物質と化学 【知識及び技能】 物質について調べることにより、さまざまな物質も特徴によって分類することができることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 中学で行った物質に関する実験を振り返り、これから学ぶ化学が物質に関する学問であることを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 身のまわりの物質に着目し、我々の生活が物質に支えられていることを理解させる。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布	【知識・技能】 物質の性質に注目し、それぞれの物質を性質ごとに分類することができる。 【思考・判断・表現】 実験を通して、身近な物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活や社会を支える物質やその利用に関心を持ち、物質の取り扱い方や人間生活における役割を探究しようとする。	○	○	○	2
	1章 物質の構成 1節 物質の探究 【知識及び技能】 混合物と純物質の違いを理解し、自然界の物質の多くが混合物であることを理解させる。 また、混合物から目的の物質に分離するには、物質の性質に合わせた方法があることを知る。 元素の意味を知り、純物質のなりたちを理解する。 粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の物理的、化学的性質を調べることにより、物質が数種類に分類できることを実験的・論理的に考え、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の構造や性質に関する事象に関心を持たせ、意欲的に物質を探究させる。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布	【知識・技能】 身のまわりの物質を純物質と混合物に分類することができる。 粒子の熱運動と粒子間にはたらく力との関係を理解し、物質の状態変化について粒子の運動をもとに考えることができる。 【思考・判断・表現】 物質の物理的、化学的性質を調べることにより、物質が数種類に分類できることを実験的・論理的に考え、表現することができる。 「実験1 炎色反応」において、実験の基本操作と検出方法について理解し、物質を探究するための具体的な方法を身に付ける。また、実験結果を考察し、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の構造や性質に関する事象に関心を持ち、意欲的に物質を探究しようとする。 身近な物質の三態変化と、粒子の熱運動と温度との関係に関心を持ち、それらを意欲的に探究しようとする。	○	○	○	5
	2節 物質の構成粒子 【知識及び技能】 原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解させる。 同位体の定義とその性質を理解する。 陽イオン、陰イオンの生成のしくみを理解させる。 周期表の族や周期との関係について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 原子構造の簡単なモデルを描く技能を習得させる。 イオンの生成を電子配置と関連づけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 元素の性質に興味を持ち、元素の性質が周期的に変わることを探究する力を養う。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布	【知識・技能】 物質が原子から成り立っていることを理解する。 原子は原子核と電子からなっていて、価電子が物質の性質を決めていることを推論・理解できる。また、同位体についての正しい知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 原子構造の簡単なモデルを描く技能を習得し、的確に表現することができる。 イオンの生成を電子配置と関連づけて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 元素の性質に興味を持ち、元素の性質が周期的に変わることを探究しようとする。また、元素の性質が電子配置と関係しており、現在の周期表がつけられていることを理解することができる。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	2章 物質と化学結合 1節 イオン結合 【知識及び技能】 陽イオンと陰イオン間の静電的引力によりイオン結合が形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 水溶液中や溶融した状態のイオンの挙動をイメージさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 イオン結合でできた物質の性質について興味を持ち、自ら探究する力を培う。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布	【知識・技能】 イオン結合がイオン間の静電的な引力による結合であることを理解している。 【思考・判断・表現】 水溶液中や溶融した状態のイオンの挙動をイメージし、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 イオン結合でできた物質の性質について探究しようとする。	○	○	○	5

	2節 共有結合と分子間力 【知識及び技能】 共有結合を電子配置と関連づけて理解させる。また、配位結合や分子に働く力、分子結晶や高分子化合物について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 分子中の原子の結合および分子の構造を表す方法を理解させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 分子からなる物質や、共通結合の結晶の性質について興味を持ち、自ら探究する力を培う。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等 タブレットによる参考資料の配布	【知識・技能】 共有結合を電子配置と関連づけて理解することができる。また、配位結合について理解している。分子に働く力を理解し、分子結晶や高分子化合物について理解している。 【思考・判断・表現】 分子の電子式・構造式を書くことができる。電気陰性を理解し、分子の形と合わせて極性について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 分子からなる物質や、共通結合の結晶の性質について探究しようとする。	○	○	○	5
	3節 金属と金属結合 【知識及び技能】 金属元素の結合と性質を理解する。また、種々の金属について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な金属の色や性質、電気や熱の伝導度について観察したり、調べたりする技能を習得させる。 【学びに向かう力、人間性等】 どのように金属元素どうしが結びついているのかについてや金属に共通する性質について興味を持ち、自ら探究する力を培う。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 金属結合が自由電子の介在した結合であることを理解し、電気伝導性や展性、延性などの金属の性質と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 身近な金属の色や性質、電気や熱の伝導度について観察したり、調べたりする技能を習得している。 【主体的に学習に取り組む態度】 どのように金属元素どうしが結びついているのかについて探究しようとする。金属に共通する性質について、探究しようとする。	○	○	○	5
	4節 化学結合と物質 【知識及び技能】 1～3節で学習した化学結合の種類を系統だてて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 1～3節で学習した化学結合について、特徴を比較させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物質を化学結合の種類と結び付けて考える力を培う。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 1～3節で学習した化学結合の種類を系統だてて理解している。 【思考・判断・表現】 1～3節で学習した化学結合について、特徴を比較しながら表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物質を化学結合の種類と結び付けて考える力を培う。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第3章 物質の変化 1節 物質と化学反応式 【知識及び技能】 非常に小さな質量の原子や分子の質量は、¹²Cを基準にした相対質量で表されることを知る。また、原子量は、同位体の各原子の相対質量の平均値であることを理解する。原子量や分子量などにグラム単位をつけた質量中には、同数の原子や分子などが含まれることを理解させ、その具体的な数値が6.0×10²³個で、この粒子の集団を1 molということを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 溶液の濃さを表す方法を学習し、質量パーセント濃度、モル濃度の計算を習得する。簡単な化学反応式とイオン反応式が書けるようになる。 化学反応式の係数比は、物質質量比(気体の場合には、さらに体積比)を表していることを理解し、化学反応式によって、反応物・生成物の質量・体積が求められることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 いろいろな物質の化学変化に注目し、化学変化の量的関係を物質質量と関連づけて考察しようとするとともに、意欲的にそれらを探究しようとする力を培う。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 原子量・分子量・式量と物質量の関係を論理的・分析的・包括的に理解できているとともに、物質量を用いた基本的な計算ができる。化学式が使用できるとともに、原子量・分子量・式量・物質量の知識を身に付けている。物質量と気体の体積の関係を理解している。 【思考・判断・表現】 モル濃度が、溶液の体積と溶質の物質量との関係を表していることを理解し、質量パーセント濃度とモル濃度の違いを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 溶液の濃度の表し方について探究しようとする。いろいろな物質の化学変化に注目し、化学変化の量的関係を物質質量と関連づけて考察しようとするとともに、意欲的にそれらを探究しようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	2節 酸と塩基 【知識及び技能】 酸・塩基の定義を理解し、酸性・塩基性についても理解する。また、酸と塩基の価数と、酸と塩基の強弱とは、直接関係しないことを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 水素イオン濃度とpHとの関係を知り、pHの値で、水溶液の酸性度・塩基性がわかることを理解させ、酸と塩基の強弱を電離度と関連付けて考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 酸・塩基はどのような物質であるか探究するとともに、酸性、塩基性の程度を表す方法を探究しようとする力を培う。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連づけて酸・塩基の反応を捉えることができる。酸・塩基の化学式や酸・塩基の反応を通して、酸と塩基の共通性を見出し、酸・塩基の定義を理解できる。 【思考・判断・表現】 酸・塩基の価数・強弱の関係を理解し、電離度に関連付けて考察することができる。 「実験3 いろいろな水溶液のpH測定」を行い、pH試験紙でいろいろな溶液や身近な物質のpHを測定する技能を修得し、さまざまな酸・塩基の強弱について考察することができる。 また、「実験4 中和滴定」を行い、メスフラスコ、ビュレット、ホールビペットなどの実験器具の取り扱いができると同時に、酸・塩基の量的関係から濃度未知の酸や塩基の濃度を実験で求める技能を修得している。 【主体的に学習に取り組む態度】 酸・塩基はどのような物質であるか探究するとともに、酸性、塩基性の程度を表す方法を探究しようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	3節 酸化還元反応 【知識及び技能】	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出	【知識・技能】 酸化・還元の定義を理解し、酸化と還元が同時に起こること				

3 学 期	酸素、水素、電子の授受に基づく定義を理解する。とくに、酸化還元反応が電子の授受による反応であることを理解する。 酸化数の求め方、酸化数の変化と酸化・還元の関係を理解する。また、酸化剤・還元剤の定義を知り、両者の反応が酸化還元反応であること理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 酸化数の定義を理解し、これらの定義を適用できる反応を考えさせる。 イオン反応式から反応全体の化学反応式を導かせる。 【学びに向かう力、人間性等】 イオン化傾向について学習し、個々の金属のイオン化傾向と反応性の関係を探る。 日常生活や社会との関わり例として、電池や金属の精錬を理解させ、自ら探究する力を培う。	習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等	とを理解している。 酸化剤・還元剤について理解し、酸化反応・還元反応で起こるイオン反応式を書くことができる。 酸化還元反応の量的関係を理解している。 金属のイオン化傾向を、酸化還元反応と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 酸化数の定義を理解し、これらの定義を適用できる反応を見出すことができる。 イオン反応式から反応全体の化学反応式を導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な現象と酸化還元反応を関連付けることができる。 酸化還元反応に関心を持ち、電子の授受という観点から化学反応をとらえ、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	9
	終章 科学技術と化学 【思考力、判断力、表現力等】 身のまわりの生活に生かされている科学技術について、化学的に説明し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 身のまわりの生活と化学基礎で学んできたことを結び付け、化学が生活に役立っていることを理解させる。	・指導事項 基本的な概念や原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 教科書・授業プリント・問題プリント ・一人1台端末の活用 等	【思考・判断・表現】 身のまわりの生活に生かされている科学技術について、化学的に説明し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身のまわりの生活と化学基礎で学んできたことを結び付け、化学が生活に役立っていることを自ら考えることができる。		○	○	2
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 理科 科目 物理基礎

教科： 理科 科目： 物理基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ 物基710「高等学校 新物理基礎」第一学習社 「新課程版 ネオパルノート物理基礎 第一学習社」）

教科 理科 の目標：	
【知識及び技能】	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

科目 物理基礎		の目標：	
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての物理法則の理解を深め、物理現象を科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。		自然の事物・現象の中に問題を見だし、物理法則や物理量の関係式を用いた解法で見通しをもって、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、物理学で学んだ知識を用いて探究しようとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1節 物体の運動 【知識・技能】 直線上を運動している物体の合成速度や相対速度を 考えることができる。 【思考・判断・表現】 自由落下や鉛直投射について、式やグラフを用いて 考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 速度が変化する日常での事象について意欲的に考 え、加速度とはどのような物理量であるかを考察し ようとする。	第1節 物体の運動 ①速さ ②等速直線運動 ③変位と速度 ④速度の合成・相対速度 ⑤加速度 ⑥等加速度直線運動(1) ⑦等加速度直線運動(2)	【知識・技能】 直線上を運動している物体の合成速度や相対速度を 考えることができる。 【思考・判断・表現】 自由落下や鉛直投射について、式やグラフを用いて 考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 速度が変化する日常での事象について意欲的に考 え、加速度とはどのような物理量であるかを考察し ようとする。	○	○	○	9
	第2節 力と運動の法則 【知識・技能】 さまざまな状態にある物体について、はたらく力を 図示することができる。また、運動方程式を立てる ことができる。 【思考・判断・表現】 力のベクトルの性質を踏まえ、つりあいの式を考 えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体が落下するときのようすなどに関心をもち、そ れらの現象を物理的に考えようとする。	⑧重力加速度と自由落下 ⑨鉛直投射 ⑩水平投射 第2節 力と運動の法則 ①力と質量 ②いろいろな力 ③力の合成・分解と成分 ④力のつりあい ⑤作用・反作用の法則 ⑥慣性の法則	【知識・技能】 さまざまな状態にある物体について、はたらく力を 図示することができる。また、運動方程式を立てる ことができる。 【思考・判断・表現】 力のベクトルの性質を踏まえ、つりあいの式を考 えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体が落下するときのようすなどに関心をもち、 それらの現象を物理的に考えようとする。	○	○	○	11
	1学期中間考査			○	○		1
	第3節 仕事と力学的エネルギー 【知識・技能】 静止摩擦力、動摩擦力の大きさを計算できる。物体 が受ける水圧や浮力の大きさを計算できる。 【思考・判断・表現】 実験データを分析しながら、力と加速度の関係、質 量と加速度の関係を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 摩擦力や浮力など、さまざまな力を含めた物体の運 動について、物理学的に理解しようとしている。	⑦力と質量と加速度の関係(1) ⑧力と質量と加速度の関係(1) ⑨運動の法則 ⑩摩擦力 ⑪流体から受ける力 第3節 仕事と力学的エネルギー ①力がする仕事 ②仕事の原理と仕事率	【知識・技能】 静止摩擦力、動摩擦力の大きさを計算できる。物 体受ける水圧や浮力の大きさを計算できる。 【思考・判断・表現】 実験データを分析しながら、力と加速度の関係、質 量と加速度の関係を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 摩擦力や浮力など、さまざまな力を含めた物体の運 動について、物理学的に理解しようとしている。	○	○	○	8
	第Ⅱ章 熱 第1節 熱とエネルギー 【知識・技能】 運動エネルギーの大きさを計算し、物体がされた仕 事との関係についても式を用いて計算できる。 【思考・判断・表現】 種々の物体の運動について、力学的エネルギー保存 の法則を適用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 力学的エネルギー保存の法則に関連させ、振り子の 速さの測定などの実験に積極的に取り組んでいる。	③運動エネルギー ④重力による位置エネルギー ⑤弾性力による位置エネルギー ⑥力学的エネルギー(1) ⑦力学的エネルギー(2) 第Ⅱ章 熱 第1節 熱とエネルギー ①温度と熱運動	【知識・技能】 運動エネルギーの大きさを計算し、物体がされた仕 事との関係についても式を用いて計算できる。 【思考・判断・表現】 種々の物体の運動について、力学的エネルギー保存 の法則を適用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 力学的エネルギー保存の法則に関連させ、振り子の 速さの測定などの実験に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	2学期中間考査			○	○		1

	第2節 音波 【知識・技能】 波の基本的な要素を学習し、波の速さ、波長、周期（振動数）の間に成り立つ関係を式で表せる。横波と縦波の伝わり方を理解する。2つの波が重なりあったときの作図ができる。 【思考・判断・表現】 反射の仕方を理解し、反射波の作図を行うことができる。波の伝わり方を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 音波の伝わり方を学習し、空気中における音速と温度の関係を理解しようとしている。	②波の表し方 ③横波と縦波 ④波の重ねあわせ ⑤定常波 ⑥波の反射 第2節 音波 ①音の速さと3要素 ②波としての音の性質 ③弦の固有振動 ④気柱の固有振動 探究4 弦の固有振動 探究5 気柱の共鳴	【知識・技能】 波の基本的な要素を学習し、波の速さ、波長、周期（振動数）の間に成り立つ関係を式で表せる。横波と縦波の伝わり方を理解する。2つの波が重なりあったときの作図ができる。 【思考・判断・表現】 反射の仕方を理解し、反射波の作図を行うことができる。波の伝わり方を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 音波の伝わり方を学習し、空気中における音速と温度の関係を理解しようとしている。				10	
	2学期末考査				○	○		1
	3 学 期	第IV章電気 第1節 電荷と電流 【知識・技能】 物体の帯電した電気量から、移動した電子の数を計算できる。移動する電荷の大きさから、電流の大きさを計算できる。 【思考・判断・表現】 抵抗が直列・並列に接続された回路において、合成抵抗や電流、電圧を求めることができる。消費電力と使用時間から、電力量を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 抵抗の直列接続、並列接続の特徴について、自身で考察し、式を導こうとする。ジュール熱について身のまわりの製品と結びつけて理解しようとする。	第IV章電気 第1節 電荷と電流 ①電荷 ②電流と電気抵抗 ③物質と抵抗率 ④抵抗の接続 ⑤電力量と電力 第2節 電流と磁場 ①磁場 ②モーターと発電機 ③交流の発生と利用 ④電磁波	【知識・技能】 物体の帯電した電気量から、移動した電子の数を計算できる。移動する電荷の大きさから、電流の大きさを計算できる。 【思考・判断・表現】 抵抗が直列・並列に接続された回路において、合成抵抗や電流、電圧を求めることができる。消費電力と使用時間から、電力量を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 抵抗の直列接続、並列接続の特徴について、自身で考察し、式を導こうとする。ジュール熱について身のまわりの製品と結びつけて理解しようとする。				11
学年末考査					○	○		1
第3節 エネルギーとその利用 【知識・技能】 放射線の実体がいかに理解し、放射線の利用について知る。原子力発電の基本的なしくみを理解し、どのような課題があるかを知る。 【思考・判断・表現】 電気エネルギーへの変換を中心として、利用しているエネルギー資源について調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活と深く関わる電気エネルギーが、どのように使われているのかに関心を示している。放射線や原子力の利用について、意欲的に学習しようとする。	第3節 エネルギーとその利用 ①太陽エネルギーの利用 ②原子核と放射線 ③原子力とその利用 探究7 発電電力量の推移	【知識・技能】 放射線の実体がいかに理解し、放射線の利用について知る。原子力発電の基本的なしくみを理解し、どのような課題があるかを知る。 【思考・判断・表現】 電気エネルギーへの変換を中心として、利用しているエネルギー資源について調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活と深く関わる電気エネルギーが、どのように使われているのかに関心を示している。放射線や原子力の利用について、意欲的に学習しようとする。					3	
								合計
								63

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科		保健体育	科目	体育
教 科：	保健体育	科 目：	体育	単位数： 3 単位
対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組				
使用教科書：（ 「ステップアップ高校スポーツ2022」（大修館書店） ）				
教科	保健体育	の 目 標：		
【 知 識 及 び 技 能 】		各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】		運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】		生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。		
科目	体育	の 目 標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：体づくり運動 【知識及び運動】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするこ、話合いに貢献しようとするこなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 基礎運動 体力テスト ・教材 新体力テスト実施要領 ・一人1台端末の活用 等	【知識・運動】 体づくり運動では、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。	○	○	○	9
	単元：陸上競技 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするこなどや、健康・安全を確保するこ と。	・指導事項 リレー指導 脚力教科トレーニング ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡して次走者のスピードを十分高めることができる。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするこなどや、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	12
	単元：球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするこ、作戦などについての話合いに貢献しようとするこ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするこ、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 球技：バレーボール ・教材 試合シート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。 【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	○	○	○	12
	単元：水泳 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見	・指導事項 オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 基礎運動 体力テスト ・教材 新体力テスト実施要領	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 複数の泳法で泳ぐこと、またはリレーをすることができる。 【思考・判断・表現】 泳法などの事故や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の仲間の考えたことを他者に伝えている。				

2 学 期	し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	・一人1台端末の活用 等	【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	12
	単元：水泳 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	・指導事項 オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 基礎運動 体力テスト ・教材 新体力テスト実施要領 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 複数の泳法で泳ぐこと、またはリレーをすることができる。 【思考・判断・表現】 泳法などの事故や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	9
	単元：球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 球技：バドミントン ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。 【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	○	○	○	12
	単元：柔道 【知識及び技能】 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 礼法、基本動作、受け身 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 姿勢と組み方では、相手の動きの変化に応じやすい自然体で組むことができる。相手の投げ技に応じて横受け身、後ろ受け身、前回り受け身をとること。 【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 柔道の学習に積極的に取り組もうとしている。 マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	○	○	○	9
	単元：陸上競技 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 基礎運動 体力テスト ・教材 新体力テスト実施要領 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	9
	単元：陸上競技	・指導事項					

3 学 期	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする こと、自己の責任を果たそうとす ること、一人一人の違いに応じた課題や挑 戦を大切にしようとする ことなどや、健康・安全を確保するこ と。	長距離走 ・教材 ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	9	
	単元：球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする こと、作戦などについての話し合いに貢 献しようとする こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしよう とすること、互いに助け合い教え合おう とすることなどや、健康・安全を確保 すること。	・指導事項 バスケットボール ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。 【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	○	○	○	12	
合計								105

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科		保健体育	科目	体育
教 科：	保健体育	科 目：	体 育	単位数： 3 単位
対象学年組：	第 1 学年 A 組～ H 組			
使用教科書：	（ 「ステップアップ高校スポーツ2022」（大修館書店） ）			
教科	保健体育	の目標：		
【知識及び技能】		各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】		運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】		生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。		
科目	体育	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：体づくり運動 【知識及び運動】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 基礎運動 体力テスト ・教材 新体力テスト実施要領 ・一人1台端末の活用 等	【知識・運動】 体づくり運動では、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。	○	○	○	9
	単元：陸上競技 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 リレー指導 脚力教科トレーニング ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡して次走者のスピードを十分高めることができる。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	12
	単元：球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 球技：バレーボール ・教材 試合シート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。 【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	○	○	○	12
	単元：水泳	・指導事項	【知識・技能】				

2 学 期	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 基礎運動 体力テスト ・教材 新体力テスト実施要領 等 ・一人1台端末の活用	技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 複数の泳法で泳ぐこと、またはリレーをすることができる。 【思考・判断・表現】 泳法などの事故や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	12
	単元：水泳 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	・指導事項 オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 基礎運動 体力テスト ・教材 新体力テスト実施要領 等 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 複数の泳法で泳ぐこと、またはリレーをすることができる。 【思考・判断・表現】 泳法などの事故や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	9
	単元：球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 球技：バドミントン ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。 【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	○	○	○	12
	単元：ダンス 【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうということ、作品や発表などの話合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようということなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 現代的なリズムのダンス 創作ダンス ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうということ、作品や発表などの話合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようということなどや、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	9
	単元：陸上競技 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。	・指導事項 オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 基礎運動 体力テスト ・教材	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて				

3 学 期	【思考力、判断力、表現力等】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、健康・安全を確保すること。	新体力テスト実施要領 ・一人1台端末の活用 等	て運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	9
	単元：陸上競技 【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 長距離走 ・教材 ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	9
	単元：球技 【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 バスケットボール ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。 【思考・判断・表現】提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技の学習に積極的に取り組もうとしている。マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	○	○	○	12
	合計						

合計

105

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科

芸術

科目 音楽Ⅰ

教 科： 芸術

科 目： 音楽Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ ON! 1 音楽之友社 ）

教科 芸術

の目標： 音楽・美術・書道の芸術に関する専門教育を通して、我が国の芸術文化を支え、国内外での芸術文化活動により社会貢献できる心豊かな人間の育成を図る。

【知 識 及 び 技 能】

芸術活動を通じて、専門分野の能力の向上、国際的に活躍することができる人材の育成。

【思考力、判断力、表現力等】

芸術活動を通じて、論理的思考力、課題解決能力の育成、および、創造力・表現力（専門分野）の向上。

【学びに向かう力、人間性等】

芸術活動を通じて、将来を設計する力、コミュニケーション能力の向上。

科目 音楽Ⅰ

の目標： 音楽の幅広い活動を通して、生活や社会の中の音や音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自らの考えや感性を整理して分析するための知識や、それを表現するために必要な技能を身に付ける。	音楽の幅広い活動を通して、生活や社会の中の音や音楽文化と幅広く関わり、思考力、判断力、専門的な表現力を養う。	音楽の幅広い活動やグループ活動を通して、豊かな人間性を持った人材の育成を目指し、コミュニケーション能力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創					
1 学 期	1. 音楽鑑賞、歌唱、器楽 【知識及び技能】 ・音楽的な基礎知識の習得 ・発声法、呼吸法 ・音楽史、文化の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌詞の意味を理解して表現豊かに歌う ・ギターを用いて演奏表現する 【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ活動を通してコミュニケーション能力および豊かな人間性を養う。	・腹式呼吸の特徴をつかみ、歌うときの姿勢を身につける。 ・歌唱に必要な発声を身につける。 ・曲の理解を深めると共に、音楽の諸要素との関係に気をつけながら歌う。 ・譜読に必要な基本的音楽知識（音符、休符、拍子）について学ぶ。 ・ギターの基礎（構え方、各部の名称、弾き方）を学ぶ。 ・音楽作品を鑑賞し、音楽の諸要素を感じ取り自らの意見とその根拠を分析し表現する。	○	○	○	【観点】 授業における態度、音や音楽に対する興味・関心、音楽活動に対する意欲。（興味・関心） 授業内で実施する歌唱試験による音楽表現技能・能力の到達度や表現の工夫。（表現の技術） 【評価】 授業態度 実技テスト	○	○	○	20
	2. 歌唱、器楽 実技発表 【知識及び技能】 ・学習した内容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・実技発表において自らの表現ができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・互いに認め合い鑑賞する	・曲の理解を深めると共に、音楽の諸要素との関係に気をつけながら歌う。 ・ギターの基礎を理解し、自らの表現で演奏する。	○	○	○	【評価】 実技テスト	○	○	○	4
2 学 期	3. 音楽鑑賞、歌唱、器楽 【知識及び技能】 ・音楽的な基礎知識の習得 ・発声法、呼吸法 ・音楽史、文化の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌詞の意味を理解して表現豊かに歌う ・ギターを用いて演奏表現する 【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ活動を通してコミュニケーション能力および豊かな人間性を養う。	・複数のパートに分かれて歌う。（二部合唱） ・譜読ができる。（楽譜をみて演奏できているか） ・自分の担当する内容を、よく練習し、演奏出来ているか。 ・合唱、アンサンブルの楽しさを味わう。 ・ギターでメロディー奏、コード弾き語り、アンサンブルをする。	○	○	○	【観点】 授業における態度、音や音楽に対する興味・関心、音楽活動に対する意欲。（興味・関心） 授業内で実施する歌唱・器楽の実技試験による音楽表現技能・能力の到達度や表現の工夫。（表現の技術） 【評価】 授業態度 筆記小テスト 実技テスト	○	○	○	26
	4. 歌唱、器楽 実技発表 【知識及び技能】 ・学習した内容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・実技発表において自らの表現ができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・互いに認め合い鑑賞する	・曲の理解を深めると共に、音楽の諸要素との関係に気をつけながら歌う。 ・ギターの基礎を理解し、自らの表現で演奏する。 ・グループメンバーで楽曲をアレンジ（創作）し、オリジナルのアンサンブルを創作・演奏する。	○	○	○	【評価】 授業態度 筆記小テスト 実技テスト	○	○	○	4
	5. 音楽鑑賞、歌唱、器楽 【知識及び技能】 ・音楽的な基礎知識の習得 ・発声法、呼吸法 ・音楽史、文化の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・歌詞の意味を理解して表現豊かに歌	・グループによる演奏発表（呼吸や姿勢を意識して表現しているか。） ・これまでの学習を通し学んだことをいかして演奏しようとしているか。 ・グループ活動において、仲間と協力して練習に取り組んでいるか。 ・サウンドスケープ、環境音楽について考える。				【観点】 授業における態度、音や音楽に対する興味・関心、音楽活動に対する意欲。（興味・関心） 授業内で実施する歌唱試験による音楽表現技能・能力の到達度や表現の工夫。（表現の技術） 【評価】				

[illegible]

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・彫	デ	映						
二 学 期	【学】 表現はもつもの組合せから感じ取ったり考えたりしたことを基に、パースや視点の位置、並びや組み合わせを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 制作者の視点に着目して、配置や構図による表現の特性を生かして絵画に表す創造活動に、主体的に取り組む。	・ 端末利用 石彫りのリサイクルソー	○	○		○	・ 構図を観察し、感じ取ったことなどから主題を生成し、レタリング表現の特性を生かし、形や色、配置、構図などを考え、創造的な構想を練っている。 名前のデザインの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題において、美術や美術文化と豊かに関わり、配置や構図による表現と鑑賞の創造活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	12
	(5)『P Rキャラクター立体制作』 【知識及び技能に関する目標】 キャラクターの形や色、性格を表すポーズや持ち物などの効果、伝達したい情報やイメージなどを捉え、材料や用具などの特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 伝えたい情報や使われる場面などを基に、キャラクターの形や色彩、性格設定などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 伝えたい情報やイメージをキャラクターとして豊かに表す創造活動に、主体的に取り組む。	(5)『P Rキャラクター立体制作』 地域を活性化したり、企業の商品を宣伝したり、イベントを盛り上げたり、日本の広告デザインに用いられるキャラクターについて深く理解し、オリジナルのP Rキャラクターを立体で制作する。 ・教科書・制作ノート・石粉粘土・アクリル絵の具・筆記用具 ・端末利用 PRキャラクターデザインのリサーチ	○	○		○	【知識及び技能】 鑑賞を通じて、形や色彩の性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や、キャラクターのポーズや持ち物など造形的な特徴を基に、全体のイメージで捉えることを理解している。意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら創造的に表している。 【思考・判断・表現】 制作ノートを使用し、情報を伝えるために、キャラクターの形や色彩、性格を表すポーズや持ち物などが感情にもたらす効果や伝達効果と美しさとの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。キャラクターの伝達効果や洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深められたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題において、主題を生み出し、キャラクターの伝達効果などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しを持って表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。キャラクターの伝達効果や洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組めたか。	○	○	○	16
三 学 期	(6)『プロダクトデザイン』 【知識及び技能に関する目標】 使う人や場面、デザインの目的や条件、機能や用途、美しさなどを考えて表す。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 使う人の心情や使用する場などで求められる機能と美しさとの調和、材料の性質や構造などについて考える。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 目的や条件などを基にして、デザインの機能や効果、美しさについての理解を深める創造活動に、主体的に取り組む。	(6)『プロダクトデザイン』デザインの歴史についてリサーチし、各自、自由なテーマでマイバックを制作する。 ・教科書・制作ノート・リサイクルバッグ・アクリル絵の具・筆記用具 ・端末利用 デザインの歴史および種類についてのリサーチ	○	○		○	【知識及び技能】 鑑賞を通じて、形や色彩の性質及びそれらがもたらす効果や、使う人、場面、目的や条件、機能、用途などと造形的な特徴を基に、全体のイメージで捉えることを理解している。意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら創造的に表わせたか。 【思考・判断・表現】 制作ノートを使用し、使う人の心情や使用する場などで求められる機能などのイメージから主題を生成し、形や色彩など感情にもたらす効果や材料の性質や構造などと美しさとの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。機能や用途、洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深められたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題において、主題を生み出し、材料の性質や構造などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しをもって表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。機能や用途、洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組めたか。	○	○	○	12
	(7)『学校の風景』 【知識及び技能に関する目標】 風景の中の空間を表す活動を通して、形や色、構図などの感情に与える効果、造形的な特徴などを基に全体のイメージなどを捉え、遠近法を生かして創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 身近な場所の風景などから感じ取ったことや考えたことを基に、形や色、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 風景から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	(7)『学校の風景』 遠近法の歴史について学習し、校内の風景を自由に描く。視点の工夫や色彩の使い方など工夫をこらし、自分らしい作品制作をめざす。 ・教科書・制作ノート・ケントボード・アクリル絵の具・筆記用具 ・端末利用 風景画と遠近法のリサーチ	○			○	【知識及び技能】 鑑賞を通じて、風景の中の空間、形や色彩の効果、造形的な特徴などを基に、遠近法を理解する。意図に応じて絵の具などの特性を生かし、表現方法を工夫し、主題を追求して創造的に表わせか。 【思考・判断・表現】 制作ノートを使用し、風景を観察し、五感で感じ取ったことなどから主題を生成し、形や色、構図などの効果を考え、創造的な表現の構想を練っている。 学校の風景を描く表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、風景画の見方や感じ方を深められたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題において、美術や美術文化と豊かに関わり、学校の風景描写による表現と鑑賞の創造活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	6
	(8)『鑑賞会と作品返却』 【知識及び技能に関する目標】 これまでになかった視覚表現を生み出した、制作者の創造性に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】	(8)『鑑賞会と作品返却』 1年間の授業の課題を振り返り、美術クラスごとにTeamsを使用した作品集を作成し、作品鑑賞全般への理解や見方、関心を深める力を養う。 ・教科書・制作ノート・筆記用具					【知識及び技能】 鑑賞を通じて、これまでになかったメディア表現を生み出した制作者の創造性に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉えることを理解できたか。 【思考・判断・表現】 制作ノートを使用し、これまでになかった作品を生み出すという場合に、よさや美しさがどのように表れてくるのかを感じ取り、制作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考え、見方や感じ方を深められたか。				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・彫	デ 映						
	これまでになかった作品を生み出すという場合に、よさや美しさがどのように表れてくるのかを感じ取り、制作者の意図や創造的な表現の工夫について考える。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 制作者の創造性に着目して、表現の意図や工夫を読み取り鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。	・ 端末利用 鑑賞ノートを共有する			○ ○	を保められたか。 【主体的に学習に取り組む態度】提出課題において、美術や美術文化と豊かに関わる中で、創造性を駆使して表現された作品の、鑑賞の創造活動に主体的に取り組むことができたか。	○	○	○	2
										合計 70

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教 科： 芸術 科 目： 書道 I 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A, B, C, D, E, F 組

使用教科書：（ 教育図書 書 1 ）

教科 芸術

の目標： 美術・音楽・書道の芸術に関する専門教育を通して、我が国の芸術文化を支え、国内外での芸術文化活動により社会貢献できる心豊かな人間の育成を図る。

【知 識 及 び 技 能】

芸術に関する教科の特質を理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に着けようとする。

【思考力、判断力、表現力等】

創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I

の目標： 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の基本的な技術を身に着けるとともに、表現するうえで適切な技法を身に着けていく。	書の歴史的背景、書家の人物像にも思いを馳せ、筆法の説明も自らの言葉でできるように、臨書、鑑賞を重ねていく。	自主的に創意工夫を重ねていく学習態度を身に着けていく。表現する技術と感性を自ら高めていくことで、生涯にわたって、書、芸術を愛好する心情を育んでいきたい。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	書道の基本	書道用具の正しい扱い方を学ぶ。また、芸術としての書に触れる。書の鑑賞の導入。		○		○	姿勢執筆や、用具、用材について理解し、書の学習方法を把握している。	○	○	○	4
	楷書の学習	九成宮禮泉銘 筆法を知る。実際に書くことは勿論のこと、言葉にして説明もできるようになってほしい。		○		○	筆法を理解している。臨書するためにじっくりとお手本に向き合おうとしている。	○	○	○	6
	楷書の学習	孔子廟堂碑 筆法を知る。九成宮禮泉銘との比較してそれぞれの特徴を理解していく。		○		○	九成宮禮泉銘と孔子廟堂碑との違いを意識して、臨書に臨んでいる。	○	○	○	6
	書の作品制作の導入	孔子廟堂碑 筆法を知る。九成宮禮泉銘との比較してそれぞれの特徴を理解していく。		○		○	孔子廟堂碑 筆法を知り、九成宮禮泉銘との比較してそれぞれの特徴を理解している。	○	○	○	8
2 学 期	作品展示	文化祭に向けた作品展示 クラスメートまたは、グループで協力して作業を進めること。				○	互いの作品への鑑賞することは、展示をしていく上で重要であることを理解し、協力して作業を進めようとしている。	○	○	○	10
	行書の学習	蘭亭序を臨書して学び、行書について理解する。		○		○	蘭亭序の臨書を通して、行書について理解する。	○	○	○	8
	行書の学習	行書の基本について学び、行書体で書く。		○		○	行書の基本を理解し、行書体で書くことができる。	○	○	○	12
3 学 期	仮名の学習	日本の仮名の古典を学びながら、変体仮名、連綿の構造などを知る。日本の美の一つに挙げられる仮名に親しむ。				○	変体仮名、連綿の構造などを理解し、日本の伝統的な仮名への関心を深めている。	○	○	○	8
	漢字かな交じりの学習	漢字かな交じりの書で創作の基本を学び、創作する。					漢字かな交じりの書で創作の基本を理解し、創作している。				8

[illegible]

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科

外国語 科目 論理・表現I

教 科： 外国語 科 目： 論理・表現I

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ Applause English logic and expression I ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】

外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解する。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語での確に理解したり適切に伝え合ったりする。聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現する。

【学びに向かう力、人間性等】

他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

科目 論理・表現I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。		習得した発信能力を活かし、積極的に論理的に伝えようとする態度を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	A 単元 Lesson 1 【知識及び技能】 自分のあこがれの人について、動詞の現在形や現在進行形などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 あこがれの人がしていることについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 あこがれの人がしていることについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	・指導事項 ・現在形や現在進行形を正しく用いて表現する。 ・自分や身近な人のことについて話したり書いたりする。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする。 ・教材 「Applause English logic and expression」 ・一人1 台端末の活用	○	○	○	○	○	【題材】 自己紹介 【題材に関するタスク】 ・あこがれの人に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・自分や身近な人に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 【文法】 ・現在形、現在進行形について学んで理解する。 ・現在形、現在進行形を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「あいづち」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「あいづち」表現を用いて文を作る。	○	○	○	5
	B 単元 Lesson 2 【知識及び技能】 未来形などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	・指導事項 ・未来形を正しく用いて表現することができる。 ・未来形を使い、話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。 ・教材 「Applause English logic and expression」 ・一人1 台端末の活用	○	○	○	○	○	【題材】 天気予報 【題材に関するタスク】 ・天気に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・関連する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 【文法】 ・未来形について学んで理解する。 ・未来形を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「聞き直す」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「聞き直す」表現を用いて文を作る。	○	○	○	5
	定期考査								○	○		1
	C 単元 Lesson 3 【知識及び技能】 富士登山のルールについて、助動詞を用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	・指導事項 ・助動詞を正しく用いて表現することができる。 ・ルールについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。 ・教材 「Applause English logic and expression」 ・一人1 台端末の活用	○	○	○	○	○	【題材】 予定 【題材に関するタスク】 ・ルールに関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・ルールに関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 【文法】 ・助動詞について学んで理解する。 ・助動詞を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「詳しい情報をたずねる」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「詳しい情報をたずねる」表現を用いて文を作る。	○	○	○	5
	D 単元 Lesson 4 【知識及び技能】 旅行について、動詞の現在完了形などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 旅行について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	・指導事項 ・現在完了形を正しく用いて表現することができる。 ・旅行のことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。 ・教材 「Applause English logic and expression」 ・一人1 台端末の活用	○	○	○	○	○	【題材】 旅行 【題材に関するタスク】 ・旅行に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・旅行に関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 【文法】 ・現在完了形・現在完了進行形について学んで理解する。 ・現在完了形・現在完了進行形を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「話を切り出す」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「話を切り出す」表現を用いて文を作る。	○	○	○	6
E 単元 Lesson 5 【知識及び技能】 達成した事柄について、受動態などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	・指導事項 ・受動態を正しく用いて表現することができる。 ・学習・課外活動について話したり書いたり						【題材】 学習・課外活動 【題材に関するタスク】 ・学習・課外活動に関する会話を聞いて理解し、質問					

2 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 達成した事柄について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 達成した事柄について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	・することができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。 ・教材 「Applause English logic and expression」 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	に答える。 ・学習・課外活動に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 【文法】 ・受動態について学んで理解する。 ・受動態を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「同意を求める」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「同意を求める」表現を用いて文を作る。	○	○	○	8
	定期考査								○	○		1
	F 単元 Lesson 6 【知識及び技能】 比較級や最上級を表す表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ギネスワールドレコードについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	・指導事項 比較級や最上級を正しく用いて表現することができる。 ・ギネス記録について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。 ・教材 「Applause English logic and expression」 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【題材】 食文化 【題材に関するタスク】 ・ギネス記録に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・ギネス記録に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 【文法】 ・比較級、最上級を学んで理解する。 ・比較級、最上級の表現を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「お礼を言う」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「お礼を言う」表現を用いて文を作る。	○	○	○	5
	G 単元 Lesson 7 【知識及び技能】 日本の弁当について、同数比較や倍数比較を適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の弁当について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の弁当について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	・指導事項 同数比較や倍数比較の表現を正しく用いて表現することができる。 ・日本の弁当について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。 ・教材 「Applause English logic and expression」 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【題材】 学校生活 【題材に関するタスク】 ・学校生活に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・学校生活に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 【文法】 ・同数比較や倍数比較を学んで理解する。 ・同数比較や倍数比較を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「理由をたずねる」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「理由をたずねる」表現を用いて文を作る	○	○	○	8
	定期考査								○	○		1
	H 単元 Lesson 8 【知識及び技能】 防災について、意志や推量などを表す助動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 防災について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 防災について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	・指導事項 ・動名詞を正しく用いて表現することができる。 ・災害への備えについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。 ・教材 「Applause English logic and expression」 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【題材】 日常生活 【題材に関するタスク】 ・防災に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・防災に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 【文法】 ・動名詞を学んで理解する。 ・動名詞を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「依頼を受け入れる・断る」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「依頼を受け入れる・断る」表現を用いて文を作る。	○	○	○	5
	I 単元 Lesson 9 【知識及び技能】 もっていききたいお土産について、不定詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 もっていききたいお土産について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 もっていききたいお土産について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	・指導事項 ・不定詞を正しく用いて表現することができる。 ・持っていききたいお土産について話したり書いたりすることができる。 ・自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。 ・教材 「Applause English logic and expression」 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【題材】 交通問題 【題材に関するタスク】 ・お土産に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・お土産に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 【文法】 ・不定詞について学んで理解する。 ・不定詞を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「話しかける」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「話しかける」表現を用いて文を作る。	○	○	○	5
	J 単元 Lesson 10 【知識及び技能】 将来の夢について、不定詞の名詞用法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 将来の夢について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 将来の夢について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	・指導事項 ・不定詞の名詞用法を正しく用いて表現することができる。 ・将来したい活動について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。 ・教材 「Applause English logic and expression」 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【題材】 将来の活動 【題材に関するタスク】 ・将来の夢や目標に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。 ・将来の夢や目標に関する情報を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 【文法】 ・不定詞の名詞用法について学んで理解する。 ・不定詞の名詞用法を用いて文を作る。 【言語の機能】 ・「励ます」表現を含む対話を理解し、展開する。 ・「励ます」表現を用いて文を作る。	○	○	○	8
	定期考査								○	○		1

[illegible]

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科		外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ
教 科：	外国語	科 目：	英語コミュニケーションⅠ	単位数： 3 単位
対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組				
使用教科書：（「Big Dipper English CommunicationⅠ」）				
教科	外国語	の目標：		
【知識及び技能】		外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		
科目	英語コミュニケーションⅠ	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を行い、知識及び技能、思考力、判断力、表現力等を一体的に育成する。		中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話〔や〕	話〔発〕	書					
	単元 Lesson 1 〈聞くこと〉朝食に関するALTの発言を聞いて、必要な情報を聞き取り理解する。 〈読むこと〉朝食についての文章を通して不定詞、動名詞の意味や構造を理解する。また文章の要点を捉える。 〈話すこと〔やり取り〕〉朝食についての英文を読み、読んだことを基に自分の朝食について伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと〔発表〕〉朝食のレシピを読み、読んだことを基にしながらレシピの内容や自身の朝食について話して伝える。 〈書くこと〉自分の朝食について、自分の考えを書いて伝える。	・指導事項 過去形・現在形・未来を表す表現／現在完了／現在進行形／命令文の意味や構造、また、新生活での新たな目標の見つけ方について理解を深める。 ・教材 「Big Dipper English CommunicationⅠ」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表	○	○	○	○	○	(1) 聞くこと 多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 (2) 読むこと 多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 (3) 話すこと〔やり取り〕 多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができる。 (4) 話すこと〔発表〕 多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 (5) 書くこと 多くの支援を活用すれば、基本的な語句を用いて自分の意見を文章にすることができる【知識及び技能】 理解して考えを深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 意見を交換してまとめ、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に聞き取ったり、読み取ったり、話して伝えたり、発表して伝えようとしている。	○	○	○	10
	単元 Lesson 2 〈聞くこと〉ゆるキャラについての説明や会話を聞き、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。 〈読むこと〉ゆるキャラについての文章を通して分詞の後置修飾、現在完了形の意味や構造を理解する。またカラーの歴史や発展についてなど、文章の要点を捉える。 〈話すこと〔やり取り〕〉好みのゆるキャラについて、自分の考えを伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと〔発表〕〉ゆるキャラについて、話して伝える。 〈書くこと〉自分の好きなゆるキャラの情報について、書いて伝える。	・指導事項 不定詞〈to＋動詞の原形〉／動名詞/第一、第二文型について理解を深める。 ・教材 「Big Dipper English CommunicationⅠ」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表	○	○	○	○	○	(1) 聞くこと ゆるキャラについて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 (2) 読むこと ゆるキャラの歴史について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 (3) 話すこと〔やり取り〕 好きなゆるキャラとその特徴について、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けることができる。 (4) 話すこと〔発表〕 好きなゆるキャラとその特徴について、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 (5) 書くこと 自分の好きなキャラクターについて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用。	○	○	○	10
定期考査									○	○		1

1 学 期	単元 Lesson 3 〈聞くこと〉サルとゴリラの違いについての会話を聞き、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。 〈読むこと〉サルとゴリラについての文章を通して英文の意味や構造を理解する。またリーダーシップについての違いの要点を把握する。 〈話すこと [やり取り] 〉サルとゴリラのリーダーシップについて自分の意見を伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと [発表] 〉サルとゴリラのリーダーシップについて、自分の考えを話して伝える。 〈書くこと〉自分の意見を紹介するために必要な情報について調べ、書いて伝える。	・指導事項 受動態の意味や構造、また、サルとゴリラの違いについて理解を深める。 ・教材 「Big Dipper English Communication I」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表						(1) 聞くこと 多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 (2) 読むこと 多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 (3) 話すこと [やり取り] 多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けることができる。 (4) 話すこと [発表] サルとゴリラのリーダーシップについて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 (5) 書くこと 多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や自分の考えを論理性に注意しながら書いて伝えることができる。					10
	単元 Lesson 4 〈聞くこと〉様々なスポーツについて必要な情報を聞き取り、要点を捉える。 〈読むこと〉様々なスポーツについての文章を通して理解し、比較級や最上級の意味や構造を理解する。 〈話すこと [やり取り] 〉さまざまなスポーツについて、自分の考えを伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと [発表] 〉必要な情報を理解して、最新のスポーツについて話して伝える。 〈書くこと〉おすすめのスポーツを紹介するために必要な情報を、書いて伝える。	・指導事項 比較級、最上級について理解を深める。 ・教材 「Big Dipper English Communication I」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表						【(1) 聞くこと 多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 (2) 読むこと 多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 (3) 話すこと [やり取り] 多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。 (4) 話すこと [発表] 多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 (5) 書くこと 多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して書いて伝えることができる。					10
	定期考査												1
	単元 Lesson 5 〈聞くこと〉AIについての英文から必要な情報を聞き取り、話の要点を捉える。 〈読むこと〉AIについての文章を通して分詞や形式主語の意味や構造を理解する。必要な情報を読み取り、要点を把握する。 〈話すこと [やり取り] 〉AIについて、自分の考えを伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと [発表] 〉AIについて、自分の考えや気持ちなどを話して伝える。 〈書くこと〉AIを活用する提案をするために、導入の利点や自分の考えを書いて伝える。	・指導事項 分詞や形式主語について理解を深める。 ・教材 「Big Dipper English Communication I」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表						(1) 聞くこと 多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 (2) 読むこと 多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 (3) 話すこと [やり取り] 多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。 (4) 話すこと [発表] 多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 (5) 書くこと 多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して書いて伝えることができる。					10

[illegible]

3 学 期	「書くこと」自分の考えや気持ちを書いて伝える。		○	○	○	○	○		○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
	単元 Lesson 9 〈聞くこと〉アップサイクルについて話している会話から、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する。 ・教材 「Big Dipper English Communication I」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表 〈読むこと〉アップサイクルについての文章を読み、仮定法過去や倍数表現の意味や構造を理解する。また必要な情報を聞き取り、概要を把握する。 〈話すこと [やり取り]〉アップサイクルに関する自分の関心のある事柄について、考えや気持ちを伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと [発表]〉身近なところで行えるアップサイクルにどんなものがあるか、考えを話して伝える。 〈書くこと〉自分ができる環境問題への対策や自分の考えを書いて伝える。	・指導事項 分詞構文や現在完了進行形の意味や構造について理解を深める。 ・教材 「Big Dipper English Communication I」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表	○	○	○	○	○	(1) 聞くこと 多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話しての意図を把握することができる。 (2) 読むこと 多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 (3) 話すこと [やり取り] 多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。 (4) 話すこと [発表] 多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 (5) 書くこと 多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して書いて伝えることができる。	○	○	○	10
3 学 期	単元 Lesson 10 〈聞くこと〉日本の雇用の多様性に関する英文を聞いて、必要な情報を聞き取り、要点を把握する。 ・教材 「Big Dipper English Communication I」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表 〈読むこと〉日本の雇用の多様性についての文章を読み、仮定法の意味や構造を理解する。また必要な情報を読み取り、話の概要を捉える。 〈話すこと [やり取り]〉日本の雇用の多様性について、自分の考えを伝え合うやり取りを続ける。 〈話すこと [発表]〉自分が住んでいる街の様々な視点からの多様性についての情報を話して伝える。 〈書くこと〉これから求められる多様性について、自分の考えを書いて伝える。	・指導事項 仮定法過去完了の意味や構造について理解を深める。 ・教材 「Big Dipper English Communication I」 ・一人1台端末の活用 等 課題提出、発表	○	○	○	○	○	(1) 聞くこと 多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 (2) 読むこと 多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 話すこと [やり取り] (3) 多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。 (4) 話すこと [発表] 多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 (5) 書くこと 聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して書いて伝えることができる。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科		情報	科目	情報Ⅰ
教 科：	情報	科 目：	情報Ⅰ	単位数： 2 単位
対象学年組：	第 1 学年 A 組～ H 組			
使用教科書：	（ 「最新情報Ⅰ」 実教出版 ）			
教科	情報の目標：			
【知 識 及 び 技 能】	情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。			
【思考力、判断力、表現力等】	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。			
【学びに向かう力、人間性等】	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。			
科目	情報Ⅰの目標： 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション	・C A L L 教室の使い方を理解する。 ・授業の進め方、評価方法を理解する。 ・コンピュータの起動や終了の方法を理解する。	・コンピュータ教室のルールを理解している。 ・コンピュータを起動し、目的とするアプリケーションを開くことができ、正しい手順で終了することができる。	○			1
	単元 「情報社会」 【知識及び技能】 データ、情報、知識の意味と相互の関係について理解することができる。 簡単なデータの入力ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報社会の現状と特性について理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会の課題について積極的に調べ自らの情報活用について振り返り、改善方法しようとしている。	・指導事項 情報社会の解説、授業ノートの完成指導、 キーボード入力の方法 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 情報社会とその特性について説明することができる。適切な手段を選択しデータ入力ができる。 【思考・判断・表現】 情報社会での活用例を挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	5
	単元 「情報モラルと個人への影響」 【知識及び技能】 ソーシャルメディア利用時のモラルとその影響について理解できる。 長文が支障なく作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 SNSの活用など、不特定多数を対象としたコミュニケーションの注意点及び影響についてあげることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報化が個人に及ぼす影響について考え、自らの情報活用について振り返り、改善方法しようとしている。	・指導事項 情報モラルの解説、授業ノートの完成指導、 キーボード入力の練習 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 ソーシャルメディア利用時の情報モラルとその影響について説明することができる。適切な手段を選択し文書入力ができる。 【思考・判断・表現】 モラルとマナーについて説明でき、実例を挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	6
	単元 「情報社会の法規と権利」 【知識及び技能】 知的財産、著作物、個人情報、プライバシーの解説、授業ノートの完成指導、 キーボード入力の練習 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	・指導事項 知的財産、著作物、個人情報、プライバシーの解説、授業ノートの完成指導、 キーボード入力の練習 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 知的財産の概念について説明できる。 知的財産権や著作権についての法律をあげることができる。ルールに則った通信文が作成できる。 【思考・判断・表現】 知的財産権が産業や文化の発展に与えている影響について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	8
	単元 「メディアとデザイン」 【知識及び技能】 メディアの機能やその分類について理解することができる。 メディアの発達について理解することができる。 様々なオブジェクトを取り入れた文章や通信文が作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報に応じて適切に表現メディアや情報メディアを選択して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーションを図る活動を行い、自己評価や相互評価に基づいてコミュニケーションの技能を改善しようとしている。	・指導事項 メディアとデザインの解説、授業ノートの完成指導 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 メディアの機能について説明することができる。さまざまなメディアを分類することができる。 メディアの発達について説明することができる。他のメディアを適切に使用した文書が作成できる。 【思考・判断・表現】 情報の信憑性や信頼性について吟味し、情報の真意を読み解くことができる 【主体的に学習に取り組む態度】 追加課題に取り組んでいる。	○	○	○	8
	実技試験						1
	定期考査						1
	単元 「システムとデジタル化」 【知識及び技能】 コンピュータの構成と動作の仕組みについて理解する。 ソフトウェアの種類とインタフェースについて理解する。 アナログとデジタルの違いについて理解する。 表計算ソフトを利用した情報処理ができ	・指導事項 システムとデジタル化の解説、授業ノートの完成指導 ・教材 教科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 コンピュータの構成や計算の仕組みについて説明することができる。 ソフトウェアの種類とその働きを説明することができる。アナログとデジタルの概念とその違いを説明できる。関数を使用した表が作成できる。 【思考・判断・表現】 コンピュータの計算の仕組みについて、順序立てて説				

2 学 期	る。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータの計算の仕組みについて、順序立てて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的なコミュニケーションや問題解決のために、主体的に情報を整理したり、わかりやすく伝達したり、操作性を高めたりする努力をしようとしている。		明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】追加 課題に取り組んでいる。	○	○	○	12
	単元「ネットワークとセキュリティ」 【知識及び技能】 情報通信ネットワークの構成について理解する。情報セキュリティを確保する方法と技術について理解する。 表計算ソフトを利用した情報処理ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に沿って、LANを構成する情報機器の接続を適切に選択することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 実際に利用しているネットワークの構成について自ら調べ、問題を指摘してネットワークの改善につなげようとしている。	・指導事項 ネットワークとセキュリティの解説、授業ノートの完成指導 ・教材 教 科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 CAL教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 通信方式の種類やその違いについて説明することができる。 セキュリティの基本的な考え方について説明することができる。 問題解決の手段として表が作成でき、適切なグラフが作成できる。 【思考・判断・表現】 目的に沿って、LANを構成する情報機器の接続を適切に考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】追加 課題に取り組んでいる。	○	○	○	12
	実技試験						1
	定期考査						1
3 学 期	単元「問題解決とその方法」 【知識及び技能】 問題解決の手順について理解する。データ分析の手法について理解する。 プレゼンテーションソフトを利用した資料が作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 モデル化する手順と方法を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ブレインストーミングやグループディスカッションなど、問題の発見・解決のためのグループでの活動には積極的に参画している。	・指導事項 問題解決とその手法の解説、授業ノートの完成指導 ・教材 教 科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 CAL教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 問題解決の手順について説明できる。データ分析の手法について説明できる。 プレゼンテーションソフトを利用した資料が作成でき、プレゼンテーションできる。 【思考・判断・表現】 モデル化の手順に従って、様々なモデルが作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】追加 課題に取り組んでいる。	○	○	○	7
	実技試験						1
	単元「アルゴリズムとプログラミング」 【知識及び技能】 アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 関数を使用したプログラムを作成する。多くのデータから目的のデータを探し出すプログラムを作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズムやフローチャートなどの表記に、興味や関心を示している。問題解決のためのアルゴリズムを考える学習に、主体的に取り組んでいる。	・指導事項 アルゴリズムとプログラミングの解説、授業ノートの完成指導 ・教材 教 科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 CAL教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識・技能】 アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法が説明できる。 プログラミング言語の種類とその特徴について説明できる。 【思考・判断・表現】 表計算ソフト上でVBAを使用してプログラムが作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】追加 課題に取り組んでいる。	○	○	○	6
							合計
							70